

## 研究協力をお願い

札幌孝仁会記念病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### 課題名

急性期病棟における転倒転落要因の分析とアセスメント項目の検討

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

当院4階東病棟に2022年4月1日～2024年3月31日までの2年間に入院した、転倒または転落を起こした全ての患者さんと同時期に入院した転倒しなかった患者さん。

#### 2. 研究目的・方法

近年、転倒転落に関するアセスメントツールの有用性や限界に関する研究が多く行われていますが、現場の実態に則したアセスメントツールの再構築が求められています。そこで本研究では、実際の転倒転落事例に基づき、アセスメントツール項目の検討を行います。

### 研究期間

倫理審査委員会承認後病院長許可日～2026年10月30日

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテから、以下の項目を抽出します。

属性（性別、年齢、入院日数、診療科）、身体的要因（視力障害・聴力障害、麻痺・痺れ感、骨・関節の拘縮、変形、足腰の弱り・低下、車椅子・杖・歩行器の使用、移動時の介助の必要性、ふらつき、寝たきり、発熱（37.5℃以上）、貧血（Hb濃度：男性13g/dL未満、女性12g/dL未満）、失禁、頻尿（昼8回以上もしくは夜3回以上）、トイレ介助の必要性、夜間のトイレ排泄、尿道カテーテル留置、低圧持続吸引、輸液ポンプ）、認知的要因（見当識障害・意識混濁・混乱、認知症、判断力・理解力の低下、不穏、せん妄、記憶力の低下）、薬剤的要因（鎮痛薬、向精神薬、麻薬、利尿剤、睡眠薬、抗パーキンソン薬、降圧薬、浣腸緩下剤、化学療法）、環境的要因（大部屋・個室、照明（転倒転落時間から抽出）、離床センサーの有無

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 看護部5階西病棟 研究責任者：鎌田 大樹

住所：063-0052 札幌市西区宮の沢2条1丁目16-1 電話番号：011-665-0020

その他、本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反（conflict of interest）はありません。